

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

昨今の地震等で上下水道管の破裂が報道され、人口減少、成熟社会の進展で新たなインフラ需要以上に老朽化に伴う施設の維持管理が求められ、特に上下水道の老朽化対策は急務である。そのため即応できる人材育成と環境に優しい最新鋭の重機の導入を進め、職場の安全性と作業効率の向上を図る。また、自社の迅速、丁寧な仕事の強みを活かし、地域防災等の課題に即応、役立つ地域になくてはならないナンバーワン企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	人材育成の推進(下水道管路更生管理技士)	資格取得者数 2023年2人→2026年3人
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	省エネタイプの高効率重機の導入促進	導入台数(導入所有台数は同じであるが、レンタル機械の有効活用を図る) 2023年2台→2026年2台
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域の若年者の雇用促進	若年者の雇用人数 2023年2人→2026年4人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

過疎、高齢社会が進む中、建設事業者、メーカー、地域、行政等とこれまで以上に連携を深める。また、社員の資質向上と働く環境の改善を図り、若者が集う魅力ある職場実現に取り組む。さらに地域の課題に迅速に対応し、地域と共に歩み、役立つ企業として地域貢献していく。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	人材育成の推進(下水道管路更生管理技士)	資格取得者数 2020年2人→2023年3人
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	1級土木施工管理技士資格保有者が退職し、建設業の経営事項審査の関係でその資格取得を優先せざる得なかったため下水道管路更生管理技士の目標は未達になった。	2023年2人
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	省エネタイプの高効率重機の導入促進	導入台数 2020年1台→2023年3台
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	重機は高額でモデルチェンジも早く、フル稼働で活用する状況でもないので新規購入を控えレンタルで対応したため目標未達となった。	2023年2台
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域の若年者の雇用促進	若年者の雇用人数 2020年2人→2023年4人
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	鹿本管内はもとより周辺地域の高校等に積極的に募集し、給与等条件を高めに設定しているが、他の産業に若年者が流れるなど厳しい状況にあった。	2023年2人

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**